

2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社スノーピーク 上場取引所 東
 コード番号 7816 URL <http://www.snowpeak.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山井 梨沙
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務管理室長 (氏名) 金子 聡 (TEL) 03-6805-7738
 四半期報告書提出予定日 2021年11月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	18,393	61.0	2,556	222.1	2,696	236.4	1,766	214.5
2020年12月期第3四半期	11,421	8.4	793	0.4	801	△3.0	561	9.7

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 2,203百万円(396.2%) 2020年12月期第3四半期 444百万円(△7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	93.54	—
2020年12月期第3四半期	30.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	20,472	12,662	61.8
2020年12月期	16,866	10,579	62.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 12,658百万円 2020年12月期 10,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	12.50	12.50
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2021年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行う予定です。2021年12月期の配当予想については、当該株式分割の影響を考慮した配当金の額を記載しております。株式分割考慮前の1株あたり期末配当予想額は20円であり、2021年8月12日に公表いたしました株式分割前1株あたり予想年間配当金額から実質的な変更はありません。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,400	51.5	3,650	144.4	3,770	143.1	2,350	124.2	62.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期連結業績予想につきましては、本日(11月12日)公表いたしました「2021年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社は、2021年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行う予定です。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割が2021年12月期の期首に行われたと仮定し算定しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の「1株当たり当期純利益」は通期124円41銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期3Q	19,070,000株	2020年12月期	19,070,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	156,595株	2020年12月期	232,681株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期3Q	18,887,958株	2020年12月期3Q	18,549,124株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(株式分割について)

当社は、2021年11月12日開催の取締役会において、2021年12月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に株式分割することを決議し、併せて配当予想の修正を行っております。詳細は2021年11月12日公表の「株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更及び配当予想修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、「2. 配当の状況」における2021年12月期(予想)の配当金及び「3. 2021年12月期の連結業績予想」における1株当たり当期純利益につきましては、分割後の株式数を基に算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年9月30日)における国内経済は、都市部を中心に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等が断続的に発出されたこともあり、依然として厳しい状況が継続しました。景気の先行きについては、新型コロナウイルス感染症拡大に対する各種政策の効果もあり、9月の消費者物価指数は一年半ぶりに上昇し、今後景気が持ち直していくことが期待されます。世界経済は、国や地域によっては依然として厳しい状況にありますが、新型コロナウイルス感染症対策としてのワクチン接種の効果もあり、各国において景気の回復傾向が見受けられます。

当社グループが属するアウトドア業界につきましては、密を避けたレジャーとして国内外にて高い需要が継続しております。また、キャンプについても同様に需要の高まりが継続しており、ポストコロナにおいてもキャンプの通年化やソロキャンプなどスタイルの多様化によりレジャー全般の中でのキャンプの位置づけが向上してきたと考えられ、キャンプ参加者のすそ野の広がりが確認されております。

このような環境の中にて、当社グループの営業概況としましては、全ての地域・全てのチャネルにて非常に好調に推移致しました。特に、主要な卸先であるスポーツ量販店での店舗スペースの拡大やアウトドア関連商品の売上好調もあり、卸売チャネル(EC卸、インスタア、ディーラー卸)については前年同期を大きく上回る成長を維持しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は以下のとおりとなりました。

売上高18,393,193千円(前年同期比6,971,848千円増)

営業利益2,556,846千円(前年同期比1,763,050千円増)

経常利益2,696,369千円(前年同期比1,894,929千円増)

親会社株主に帰属する四半期純利益1,766,777千円(前年同期比1,205,025千円増)

国内での事業においては、好調なキャンプ需要が見られる一方で緊急事態宣言等の影響から店舗における来店客数の減少が見られておりましたが、感染対策の実施により昨年同時期と比較して人出が増えたことや商業施設の休業体制が縮小したことで来店客数が回復傾向にあり、全てのチャネルにて売上は前年同期を上回る実績となりました。また、ポイント会員数の観点においてもエントリー層を中心に新規会員数が順調に増加している状況が続いております。特に、卸売チャネルにおいては市場全般におけるアウトドア関連商品への需要の高まりもあり、卸売先でのアウトドアに関わる店舗スペースの拡大や取扱商品量の拡大が継続していることから、前年同期を大きく上回る成長を維持しております。また、子会社の株式会社スノーピークビジネスソリューションズにおいては、引き続き当社グループ全体のIT化推進及び人材育成にかかる事業支援の強化を図ったことで売上の好調さは維持されております。

海外の事業については、新型コロナウイルス感染症の再拡大が特定の地域で見られたものの、各種対策の効果もあり各国にて前年同期を上回る売上実績となりました。国別での状況ですが、韓国については引き続きキャンプ需要は高水準を維持しており、全てのチャネルにて売上は好調に推移しました。9月には韓国で初となる体験型複合施設「Snow Peak LAND STATION HANAN」をオープンしております。キャンプ用品販売に加えカフェとキャンピングオフィスを完備し、キャンパー以外にもスノーピークの提供するブランド価値を体感できる店舗として展開して参ります。韓国から越境ECの形で販売の強化を図っている中国についても韓国と同様にSNSを通じた顧客層へのリーチやショップインショップの形態で現地の百貨店への店舗展開を行う中でブランド認知度の強化を図っております。台湾については新型コロナウイルスの拡大により直営店舗における来店客数の減少が確認されておりますが、依然としてキャンプ需要は高水準を維持していることからECや卸売チャネルでの売上が好調に推移しております。米国については、昨年9月にオープンした北米本社Snow Peak USA Headquarters(Global HQ4)を起点にリテール向けの営業強化とエントリー層に向けたテント商品の販売強化を継続しており、当社ブランド浸透を図って参りました。また、当期はテント商品の販売強化を図っておりますが、エントリー向け商品を中心に販売が好調に推移しており、堅実に顧客基盤の構築が進んでおります。また、今年の5月にはGlobal HQ4のあるポートランドの旗艦店舗内にレストランtakibiを開業しております。レストランへの来店を通じて更なるブランド認知の向上を図って参ります。英国については、ロンドン都市部のロックダウンの影響により、直営店舗の売上は依然として厳しい状況にありましたが、卸売チャネルの受注状況が引続き好調に推移し、売上に牽引しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ3,606,823千円増加し、20,472,929千円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加362,029千円、受取手形及び売掛金の増加564,526千円、商品及び製品の増加1,183,644千円等により前連結会計年度末に比べ2,258,999千円増加し9,203,007千円となり、固定資産は、スパリゾートの建設を進めたこと等により、前連結会計年度末に比べ1,347,824千円増加し、11,269,921千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,523,642千円増加し、7,810,720千円となりました。流動負債は、短期借入金の増加1,000,000千円、買掛金の増加403,202千円、未払法人税等の増加191,717千円等により前連結会計年度末に比べ1,660,082千円増加し、5,240,746千円となり、固定負債は、長期借入金の減少270,000千円等により前連結会計年度末に比べ136,439千円減少し、2,569,973千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1,766,777千円、その他有価証券評価差額金の増加271,836千円、為替換算調整勘定の増加166,958千円等があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少235,466千円等があったことにより前連結会計年度末に比べ2,083,180千円増加し、12,662,208千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日発表の「2021年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,698,002	3,060,031
受取手形及び売掛金	2,257,421	2,821,948
商品及び製品	1,540,775	2,724,420
仕掛品	90,221	113,666
原材料及び貯蔵品	113,899	174,260
その他	246,046	316,620
貸倒引当金	△2,357	△7,940
流動資産合計	6,944,008	9,203,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,773,053	5,013,041
建設仮勘定	1,263,760	1,940,885
その他(純額)	1,541,405	1,732,856
有形固定資産合計	7,578,219	8,686,783
無形固定資産		
ソフトウェア	479,529	374,000
のれん	150,331	112,748
その他	45,939	72,702
無形固定資産合計	675,800	559,451
投資その他の資産		
投資有価証券	635,012	1,006,969
繰延税金資産	221,706	197,576
その他	811,358	819,139
投資その他の資産合計	1,668,077	2,023,686
固定資産合計	9,922,096	11,269,921
資産合計	16,866,105	20,472,929

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	612,255	1,015,457
短期借入金	855,000	1,855,000
1年内返済予定の長期借入金	270,000	367,500
リース債務	7,685	10,094
未払金	644,934	621,113
未払法人税等	569,431	761,148
賞与引当金	—	147,030
役員株式給付引当金	64,479	52,818
従業員株式給付引当金	50,654	43,732
資産除去債務	1,400	957
その他	504,824	365,893
流動負債合計	3,580,664	5,240,746
固定負債		
長期借入金	1,260,000	990,000
リース債務	16,920	20,005
退職給付に係る負債	60,308	75,632
役員退職慰労引当金	39,700	54,750
製品保証引当金	231,966	279,158
ポイント引当金	236,525	291,753
資産除去債務	299,426	305,313
長期末払金	377,613	377,613
繰延税金負債	115,314	112,655
その他	68,635	63,090
固定負債合計	2,706,412	2,569,973
負債合計	6,287,077	7,810,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,779,316	2,779,316
資本剰余金	5,132,783	5,133,139
利益剰余金	3,063,286	4,594,597
自己株式	△346,640	△231,904
株主資本合計	10,628,745	12,275,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,755	283,592
為替換算調整勘定	△67,690	99,268
その他の包括利益累計額合計	△55,934	382,861
非支配株主持分	6,217	4,199
純資産合計	10,579,028	12,662,208
負債純資産合計	16,866,105	20,472,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	11,421,345	18,393,193
売上原価	5,164,905	8,278,030
売上総利益	6,256,439	10,115,162
販売費及び一般管理費	5,462,644	7,558,316
営業利益	793,795	2,556,846
営業外収益		
受取利息	252	284
受取配当金	4,082	0
受取保険金	7,402	6,901
補助金収入	12,617	57,920
持分法による投資利益	1,526	—
為替差益	—	56,314
その他	13,333	39,999
営業外収益合計	39,214	161,421
営業外費用		
支払利息	5,788	4,612
債権売却損	4,204	6,437
新株発行費	8,152	—
シンジケートローン手数料	500	4,829
為替差損	12,676	—
持分法による投資損失	—	5,389
その他	249	629
営業外費用合計	31,570	21,898
経常利益	801,439	2,696,369
特別利益		
補助金収入	260,000	—
固定資産売却益	—	3,496
特別利益合計	260,000	3,496
特別損失		
固定資産除却損	642	1,160
投資有価証券評価損	49,955	—
特別損失合計	50,597	1,160
税金等調整前四半期純利益	1,010,841	2,698,705
法人税、住民税及び事業税	413,907	1,019,953
法人税等調整額	36,283	△84,191
法人税等還付税額	△3,218	△1,816
法人税等合計	446,972	933,945
四半期純利益	563,869	1,764,759
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,117	△2,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	561,752	1,766,777

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	563,869	1,764,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,179	271,836
為替換算調整勘定	△70,568	166,958
その他の包括利益合計	△119,747	438,795
四半期包括利益	444,122	2,203,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	442,004	2,205,573
非支配株主に係る四半期包括利益	2,117	△2,017

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アウトドアライフスタイル事業を単一の報告セグメントとしております。その他の事業については、量的に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度末より、新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2021年11月12日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

1. 株式分割

(1) 株式分割の目的

当社株式の株価水準を踏まえ、投資単位当たりの金額を引き下げ、株式数の増加により株式の流動性を高めることで、投資家の皆様にとって投資しやすい環境を整え、投資家層の更なる拡大を目的としております。

(2) 株式分割の概要

①株式分割の方法

2021年11月30日(火曜日)最終の株主名簿に記載された株主の所有株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

②分割によって増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	19,070,000株
今回の分割により増加する株式数	19,070,000株
株式分割後の発行済株式数	38,140,000株
株式分割後の発行可能株式総数	112,640,000株

(3) 日程

基準日公告日(予定)	2021年11月15日(月曜日)
基準日	2021年11月30日(火曜日)
効力発生日	2021年12月1日(水曜日)

2. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、同日開催の取締役会において、会社法第184条第2項の規定に基づき、2021年12月1日をもって当社定款第6条を変更し、発行可能株式総数を分割比率に合わせて変更するものといたします。

(2) 定款変更の内容

(下線は、変更部分です。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 56,320,000株とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>112,640,000株</u> とする。

(3) 日程

定款変更の効力発生日 2021年12月1日(予定)

3. 1株当たり情報に及ぼす影響

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における(1株当たり情報)の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり四半期純利益	15円14銭	46円77銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	—

4. その他

(1) 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。